

2011 年

8 月 28 日（日曜日） 備えをより自らのものに - 京丹後市防災訓練 -

本日早朝、本市の防災訓練が、全市域から 162 地区の多くの住民の皆さんにご参加をいただき、消防団の皆さんのご協力をいただいて、真剣にとり行われました。市民の皆さん、自治区の皆さん、消防団の皆さんはじめ関係者の皆さんには、ごくろうさまでした。本当にありがとうございました。

本年は、3 月に東日本大震災が発生し、未曾有の大災害で大勢の被災者の皆さんに対し心から哀悼の誠とお見舞いを深く申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を心から念じ願っております。

同時に、とても大切なことは、この大震災を、私たち自身が、もちろん、被災者の方々のお悲しみや惨禍は想像に絶するもので、そのことに比べるべくものでは決してありませんが、可能な限りのことは自らの経験として受け止め、共有させていただくことだと思っています。

その意味でも、他の地域も同様、本年の本市の防災訓練は、津波も含めた地震への対応訓練とし、その中で、何よりも、大災害を現実経験した同じ社会の一員として、住民の皆さん一人ひとりが日頃の心構えをしっかりと自ら自分自身のものとし、備え自体、自ら確実なものとしていくことが大事だと思います。

今日の訓練では、各地域で真剣な訓練を実施していただきましたが、今後とも積み重ねていただいて、日頃の心構えや備えをより一層自らの血肉にさせていただき、憂いを寄せ付けない、安全で安心なまちづくりをともに築いていきたいと願っています。